

# スピリチュアル物語

## 31話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

### 魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリOTT内スターボックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal)



「あ、お月様がとっても綺麗  
…」フクロウの声に釣られて視線を窓外に向けたマジヨリアルが呟く。と同時に3人はその青白い光に吸い寄せられる様に窓辺へと近寄り、煌々と輝く月をその瞳に映し込んだ。

「今頃魔女達が集まって儀式をしているかも」ウィザットがゴシップでも暴露するかの様にヒソヒソと囁いた。「何故そんな小声で？」マグワートが怪訝そうな顔を見ると「だって…ここでは魔女狩りをして

時代、人々は闇に翻弄されていたんじゃないよ」「人々が闇に翻弄?」「魔女を悪の象徴として処刑した時代、人々は不安や恐れにより闇に支配されていたんじゃない」「闇に支配?」「人間は悪いことが起きるとそれを何かのせいにして解消したいというエゴが働くことも多い。その対象を魔女としたんじゃない。最初は宗教や国家レベルで始まった魔女狩りも、次第に闇に支配された民衆主導の下にエスカレートしてしまった」「火あぶりの刑ですね?どうして人間はそんな残酷なことが出来るの?」「今度はマジヨリアルが身震いをした。」「一種の集団ヒステリー現象じゃな。人は正しい情報が得られない状況で、不安や恐れが高じた際に、冷静な判断力を失い、理性を欠いた状態となり、自己の不安や恐れを払拭する為に集団で残酷な行動をもってしまう場合があるんじゃないよ。元々は集団ヒステリーは他者との同調の過剰な形で、同調が闇に共鳴した結果なんじゃない。人間は光と闇が表裏一体。同調が光となれば愛の波長が共鳴するんじゃないが」



★これまでのお話(1~30話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

[www.majotomoe.com](http://www.majotomoe.com) お話の続きは4月7日号をお楽しみに!